

フットテニスを楽しむ子どもたち



【栃木】1日に開所した岩舟町下津原の青少年教育施設「栃木JIMMINE(ジミニ)倶楽部」自然の家みかも」で6日、開所記念イベント「Foot Tennis Festival(フットテニスフェスティバル)」が開かれ、県内サッカークラブの小学生約100人が参加した。地元企業の社員らでつくる社会貢献団体「JIMMINE倶楽部」が主催。自然体験やスポーツなどを楽しめる同施設に親しんでもらおうと企画した。

フットテニスは同団体

### 栃木

## フットテニス、小学生熱戦

### 「自然の家みかも」開所祝う

が独自にルールを定めたスポーツ。自陣が縦3、横4のコートで、サッカーボールを使用する。サッカーとテニスを組み合わせたようなルールで、ボールを相手陣地に蹴り、2バウンド以内に返球して得点を競う。試合はダブルスで行い、計10チームのリーグ戦と順位決定戦を行った。子どもたちはゲストで訪れた栃木SC元主将の菅和範さんの声援を受けながら熱戦を繰り広げた。優勝したヴェルフエ矢板の深川悠仁さん(9)は「サーブの時のボールを返すのが難しかったが、勝てうれしい」と話した。(橋本裕太)